

つばた

議会だより

No.125

2013. 4. 5

2・3月会議

津幡駅前を総合整備

2P

クローズアップ 温水プール事業に予算など

4P

委員会審議 科学をテーマにふれあい広場を再整備

6P

いっばん質問 福祉灯油助成事業の再開を求めるなど 7人が登壇

11P

あの質問のゆくえ 防災行政無線を導入せよ

19P

げんきっ子で～す

(中条東保育園)

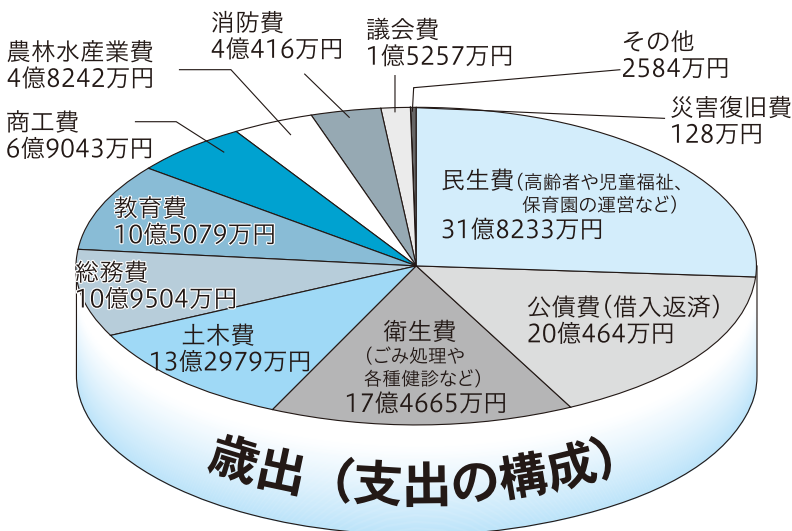
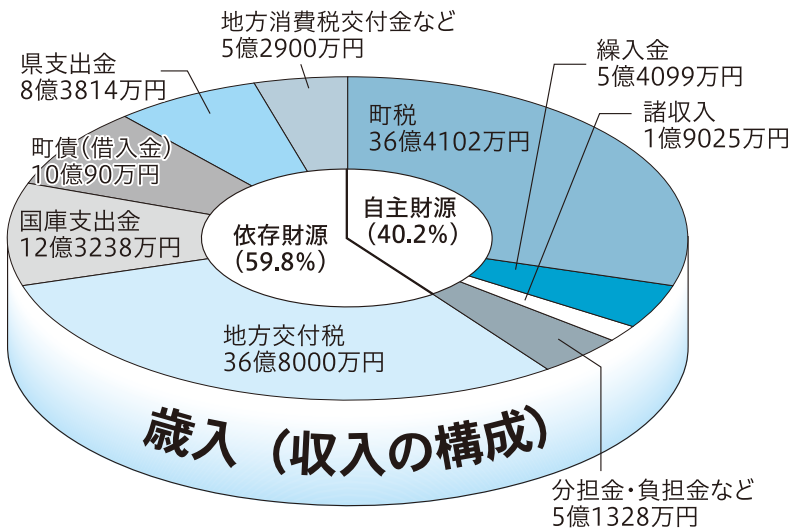
開業に向けて

前を総合整備 輪場を再整備

総事業費3億2093万円

3月会議を4日から13日までの会議期間で開催した。初日に平成25年度一般会計・特別会計・事業会計予算、24年度補正、条例の制定・改正など46件の議案が提出され、翌日町政全般について7人が一般質問を行った。

議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決、請願2件を採択、意見書2件を可決した。



●特別会計●

会計	予算	前年度比%
国民健康保険	33億6151万円	7.7
直営診療所事業(河合谷診療所)	503万円	△ 9.7
後期高齢者医療	2億9730万円	△ 4.2
介護保険	24億2656万円	4.7
簡易水道事業	434万円	△ 10.1
公共下水道事業	19億4580万円	0.7
農業集落排水事業	1億9397万円	6.3
バス事業	7561万円	0.9
ケーブルテレビ事業	6670万円	△ 0.9
河合谷財産区	35万円	0.0
計	83億7717万円	4.5

(全員賛成)

●事業会計●

会計	予 算	前年度比%
河北中央病院	収益的収支	10億3816万円 △ 3.1
	資本的収支	2億9502万円 208.9
水 道	収益的収支	6億5636万円 △ 4.2
	資本的収支	2億6117万円 △ 7.3
計	22億5071万円	5.5

(全員賛成)

平成25年度予算成立

一般会計 前年度比0.9%増
121億6600万円を可決
(賛成15人 反対2人)

北陸新幹線金沢

津幡駅 駐車場・駐



施政方針

平

成25年度の一般会計と10特別会計、2事業会計

町

長は施政方針で「住んでよかつたと実感できる

津幡町の実現に向けて力を傾けてきた。今後も、地域社会の強い絆を守りつつ、町民の安全・安心を最優先に、誠心誠意努力したい」と所信を表明した。

を合わせた当初予算総額が227億9393万円に決定した。

このうち一般会計は121億6600万円、前年度当初比0.9%増となった。本年度は、津幡駅前駐車場・駐輪場を含む駅前整備や津幡駅構内のバリアフリー化事業、温水プールの基本構想調査事業などを盛り込んだ。

平成25年度一般会計

反対

日本の防衛のあり方、自衛隊のあり方は問い直さなければならない。自衛官募集事務費に反対する。また、町道庄能瀬線は不要不急の工事である。

塩谷 道子 議員

賛成

町民の視点に立ち、それぞれの目的に応じながら経費の抑制、効率化を図り、経営健全化に向けた努力が見られ、必要度に応じた予算となっている。

荒井 克 議員

とに使われます

ーズアップ



平成25年度、新たに行われる事業など、一部を紹介します。

温水プール

基本構想調査

455万円

温水プールの施設建設に向けた調査・研究、視察などを実施し、基本構想を策定する。



▶志賀町アクアパークシ・オン

東日本大震災被災地へ

中学生6人が訪問

47万円

東日本大震災時に避難所となった中学校へ、夏休み中に津幡・津幡南中学校生徒6人と教諭2人が訪問し、学校ぐるみでその経験を生かしていくための防災教育を行う。

Q なぜ6人なのか。もう少し増やせないか。

A 今回は、初めての訪問ということもあり、生徒会代表の人数で交流を図ることとした。

歴史資料館建設へ

基本計画を策定

117万円

津幡小学校跡地に建設する計画の歴史資料館の内容の検討と基本計画の策定を行う。街中活性化の核となるよう、建設規模や展示方法、運営方法などを検討する。

Q 事業計画は。

A 平成25年度は基本計画の策定、26年度は実施設計、27年度に建設工事を行い、28年度にオープンを予定している。

再生可能エネルギー導入へ

石川高専との

共同研究を実施

107万円



▲自然エネルギーの可能性を

再生可能エネルギーの利用促進を目指し、石川工業高等専門学校と共同研究を実施する。平成25年度は小水力発電の試験機を製作し、データ収集を行い導入について検証する。

鷹の松墓地公園に 墓地区画を造成

1806万円

町民から申し込みがあったが、空き区画がなく、公園内の見晴台に墓地を53区画造成する。



▲整備される見晴台

Q 事業の採算性は。
A 区画がすべて埋まると、永代使用料の総額は2300万円になると見込んでいます。

手話通訳者を窓口

110万円

聴覚障害者への支援として、手話奉仕員養成講座を実施する。

また、毎月第2、4木曜日の午前10時から正午まで、県聴覚障害者協会から派遣された手話通訳者が各種相談に応じる。

オーストラリアから中学生が来町 姉妹校交流スタート

285万円

津幡・津幡南中学校と姉妹校締結を行ったオーストラリアのノーザン・ビーチス・ステイト・ハイスクールのから、平成25年9月に生徒10〜20人と教諭が来町する予定である。両中学校との交流やホームステイを実施する。



▲長続きする交流を

条例

子ども医療費助成
中学3年生まで拡大

子ども医療費（通院）の給付対象を小学校修了前から中学校修了前までに拡大し、子育て家庭の負担軽減および疾病の早期発見と早期治療を促進し、さらなる子どもの保健の向上と福祉の増進を図る。

（全員賛成）

24年度一般会計補正予算

4391万円を減額

（全員賛成）

総額130億8474万円に

平成24年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ4391万円を減額補正し、総額130億8474万円とした。事業費、負担金などの確定による増減補正が主なものである。

9特別会計、2事業会計も全員賛成で補正予算を可決した。

町議会では3部門の常任委員会に分かれ審議しています。

総務（総務・財政・税務・議会・監査・消防など）

◎酒井義光○荒井 克 黒田英世 塩谷道子 南田孝是 河上孝夫

文教福祉（民生・衛生・保険年金・福祉・教育・病院）

◎多賀吉一○山崎太市 八十嶋孝司 中村一子 向 正則 谷下紀義

産業建設（土木・農林・労働・商工・上下水道）

◎角井外喜雄○森山時夫 西村 稔 道下政博 谷口正一 洲崎正昭
(◎委員長 ○副委員長)



▲不感地域を解消

総務

木窪地内（大滝公園付近）

携帯電話の不感地域を解消

-企画財政課-

Q なぜ今アンテナ整備が必要なのか。

A 町の重要な観光施設であり、利用者の利便性を図るものである。また、万が一の災害の際に迅速な対応もできるようになる。

Q 町の負担金は。

A 全体事業費4595万円のうち、国・県の補助金や携帯会社の負担金、辺地対策債で充当し、7000円を町が負担する。

町内全域の航空写真を撮影

-税務課-

Q 航空写真をどのように利用するのか。

A 税務課の課税データとして利用するほか、上下水道課、農林振興課、都市建設課で利用する。平成25年度は写真を基に現在の都市計画基本図を全面更新する予定である。



▲データを新しく

文教福祉



▲更新されるCT装置

河北中央病院に

新型CT装置を設置

-河北中央病院-

Q 装置更新の必要性は。 A 来院者により精度の高い診断結果を提供する。

Q 新型CT装置の特徴は。 A 撮影時間が短く、患者の被ばく線量が減少する。また、撮影能力が向上し、精密な検査が可能となる。

※CT装置

放射線などを利用して物体を走査し、コンピュータを用いて処理することで、物体の内部画像を構成する技術、または機器。

委員会 審議

産業建設



▲どんな科学を楽しめるのかな？

実生保育園

民営化のメリットは

-町民児童課-

Q 利用者のメリットは。A 保育園の受け入れ児童定員の増加、特別保育事業（病児・病後児保育、一時保育、延長保育など）の拡充、子育て支援センターの増設などにより、保育サービスと保育環境の向上が図れる。

Q 経費削減は図れるのか。A 施設整備費で1億9450万円の減、運営費では毎年約7500万円の減である。

科学をテーマに

ふれあい広場を再整備

-交流経済課-

Q 整備内容は。A 「科学の広場」をテーマに、太陽の動きや音の伝わり方、トリックアートなど、遊びながら科学を身近に感じる設備を配置する。当広場が避難場所でもあることから、緊急時の仮設トイレ用汚水枓も設置し、防災対応にも配慮する。

Q 平成24年度からの2か年事業で、総事業費は7545万円である。

Q 利用者の駐車場を確保せよ。A 安全性・利便性を考慮し、検討する。

JR津幡駅

バリアフリー化に補助

-交流経済課-



▲みんなに優しい駅に

Q 補助対象は。A 駅構内のバリアフリー化とともに、スロープ、エレベーター3基、エレベーター専用跨線橋、多機能トイレ1か所を整備する。

Q 総事業費は。A 総事業費5億6943万円のうち、町は1億7788万円を負担する。

事業はJR西日本が主体となつて行う。

Q 完成予定時期は。A 北陸新幹線金沢開業を見据え、早期完成を目指す。

請願2件を審査

採択

ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める

◎請願者

公明党津幡支部津幡地区員

紹介議員

池田 邦三
道下 政博

主旨

治療法として先進医療であるブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）の保険適用と、周辺病態を解明することが必要である。

採択

中小企業再生・活性化策の充実・強化を求める

◎請願者

公明党津幡支部津幡地区員

紹介議員

池田 邦三
道下 政博
（全員賛成）

主旨

中小企業に対する支援策は、金融支援だけでは不十分である。きめ細かい経営支援体制などを強化し、再生・活性化を図れ。

採択された2件の請願は
意見書を内閣総理大臣ほか
関係機関に送付しました

ブラッドパッチ療法の保険適用および脳脊髄液

減少症の診断・治療の推進を求める意見書

提出議員 中村一子
賛成議員 八十嶋孝司 向 正則

- 1 ブラッドパッチ療法の治療基準を速やかに定め、平成26年度に保険適用とすること。
 - 2 脳脊髄液減少症の診断・治療の確立に関する研究を平成25年度以降も継続し、診療ガイドラインの早期作成とともに、子どもに特化した研究および周辺病態の解明を行うこと。
 - 3 脳脊髄液減少症の実態調査を実施し、患者・家族に対する相談および支援体制を確立すること。
 - 4 ブラッドパッチ療法に関する先進医療認定施設を各都道府県に最低1か所設けること。
- （全員賛成）

意見書

国へもの申す

中小企業再生・活性化策の充実・強化を

求める意見書

提出議員 道下政博
賛成議員 西村 稔 谷口正一

- 1 全国的な中小企業支援ネットワークの整備とともに、認定支援機関の整備を図るなど総合的かつきめ細かい経営支援体制の充実を図るとともに、中小企業への周知徹底、フォローアップに万全を期すこと。
 - 2 地域の金融機関のコンサルティング能力および支援体制を強化し、中小企業の経営改善を図ること。
- （全員賛成）

国の緊急経済対策に対応 通学路の安全を確保



▲整備された通学路

○町道整備事業費

6393万円

町道清水7号線など7路線の道路整備事業を行い、通学路の安全を確保する。

○津幡駅前広場整備事業費

1億1555万円

津幡駅前の駐輪場・駐車場を整備する。

○中山間地域総合整備事業費

1250万円

俱利伽羅地区のほ場整備を加速し、農地集積を促進する。

特別会計補正予算

○公共下水道事業

9234万円

東荒屋地内などにおける公共下水道管渠築造工事を行う。

○農業集落排水事業

4195万円

笠野第1処理施設の機能強化を行う。

請負契約の締結

○町道湖東2号線(湖北大橋)橋梁補修工事

6331万円

(全員賛成)

2月会議を2月19日に開催し、一般会計・特別会計補正予算、請負契約締結の議案4件が上程された。
議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決した。

やりました!!

第27回 町村議会広報全国コンクール

つばた議会だより 奨励賞



平成24年度の第27回町村議会広報全国コンクールで「つばた議会だより」が「奨励賞」を受賞しました。今回は、全国から245点の応募があり、最優秀賞、特別優秀賞、優秀賞2点、優良賞6点に次ぐ、奨励賞10点の一つに選ばれたものです。

今後も、町民の皆さまに身近で、分かりやすく読みやすい議会広報となるよう、編集委員一同、頑張っていきたいと思えます。

全国入賞議会

最優秀賞	山形県庄内町議会
特別優秀賞	鳥取県大山町議会
優秀賞	岩手県岩泉町議会
良賞	宮城県利府町議会
奨励賞	岩手県金ヶ崎町議会
	宮城県大和町議会
	山形県川西町議会
	福島県広野町議会
	群馬県吉岡町議会
	高知県越知町議会
	岩手県紫波町議会
	宮城県丸森町議会
	宮城県大郷町議会
	宮城県美里町議会
	山梨県昭和町議会
	石川県津幡町議会
	愛知県大口町議会
	愛知県幸田町議会
	鳥取県北栄町議会
	沖縄県北谷町議会
	静岡県長泉町議会

表紙フォトグランプリ賞

先進地に学ぶ 委員会視察レポート

議会改革検討 特別委員会

議会報告会の実情などを学ぶ

(かほく市議会)

1/23



▲熱心な意見交換

【視察の目的】

議会報告会開催の経緯と結果、議員定数削減の経緯、議会基本条例について学ぶ。

【研修内容と所見】

議会報告会は、平成24年11月に3日間、市内3か所の集会所で実施された。広報のみで周知したところ、合計36人の参加者があった。説明資料の作成と運営はすべて議員で行い、市民からは前向きな意見26件が出された。議員定数については、24年6月に3人の議員から申し入れがあり、全議員で協議した結果、市民アンケートと同じ15人案で最終的に決定された。議会基本条例については2月にパブリックコメントを予定し、成立を目標している。詳しい説明があり、大変参考になった。この視察を通じて、今後我々も研さんに励みたい。

視察受入報告



▲平成22年 養父市訪問

通年議会の導入について

2/14

(兵庫県養父市議会「新政クラブ」会派)

【視察来町の目的】

通年議会導入の背景と議会活性化の取り組み、通年議会試行後の変化について視察された。

【研修状況と所見】

養父市議会は、平成22年に議会改革の研修として、当町議会議員全員で訪問した議会、今回は視察を受け入れることとなった。

通年議会を導入している議会は全国的にも少なく、導入の経緯や運営方法、課題などについて、活発な意見交換が行われた。

また、当町議会からは、3年前の視察研修で学んだ議会報告会その後の状況について質問した。現在も継続して地区別に開催しているとのことであり、参加人数は相変わらず少人数ではあるが議員個々の研さんには大変役に立っており、今後も継続する予定とのことであった。今回の視察は、3年前の視察研修後の議会改革の状況について知ることができ、有意義な研修となった。

ズバリ

町政を問う

7人が一般質問

一般質問とは、議員が町政全般について町長など執行機関に考えや方針を問うものです。制限時間は1人30分以内で、一問一答で行われます。

- 1 塩谷 道子 議員……………12
 - ・生活保護基準の引き下げによる影響をなくせ
 - ・福祉灯油助成事業の再開を求める

ほか2問
- 2 荒井 克 議員……………13
 - ・温水プールのコンセプトを明確に
 - ・農業公園構想その後の進展は
- 3 道下 政博 議員……………14
 - ・通学路の安全対策を25年度で完了させよ
 - ・がん予防にペプシノゲン検査検診率を高めよ

ほか4問
- 4 黒田 英世 議員……………15
 - ・PM2.5に関する対応を早急に取り組め
 - ・庁舎内に特産品や工業製品を展示せよ

ほか1問
- 5 西村 稔 議員……………16
 - ・単独行政における経営課題は
 - ・保育園の耐震改修計画は

ほか4問
- 6 八十嶋孝司 議員……………17
 - ・消防団協力事業所に優遇制度を
 - ・スポーツ体罰に関する教育委員会の積極的取り組みを

ほか1問
- 7 中村 一子 議員……………18
 - ・原子力防災計画に対し県に意見せよ
 - ・地域包括ケアシステムをどう構築するか

ほか4問

議員の寄附行為は公職選挙法で禁止されています

- 香典や結婚披露宴における祝儀
(本人出席の上、通常一般の社交の範囲であるときを除く)
 - 議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること
 - 町民や団体が議員に寄附などを求めること
- このほか、議員活動に対して法律上の制限があります。

各種会合への出席依頼には参加費を必ず明記してください。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします

ん質問



塩谷道子 議員

基準引き下げによる影響をなくせ

国から財政措置が示されれば対応を検討する

生活保護

塩谷 議員

国は、生活扶助費の基準を平成25年8月から3年かけて最大で10%削減する方針を出した。影響は受給者だけにとどまらず、低所得者の暮らしを支えているさまざまな制度に連動する。町は国に対して生活保護基準の引き下げに反対すべきと考える。また、就学援助制度を維持すべきである。

矢田 町長

生活保護制度の保護基準額は世帯人数、年齢などで決定されており、異を唱えるものでない。就学援助費についても同様に、生活実態を反映した新しい基準額を適用することは制度の趣旨、目的から見ても妥当である。ただし、生活保護受給対象でなくなる世帯でも就学援助費の対象となる世帯もある。今後、国からの財政措置が示されれば対応を検討する。

福祉灯油

助成事業の再開を

求める

国の対応などを
見据える

塩谷 議員

石川県の灯油店頭現金価格は、18リットル価格で平成24年11月26日の1575円を底値として、25年2月18日には1777円と11週連続で値上がりし、値上げ幅は2021円にも及ぶ。長野県の6市町村では、値上がり幅171円の段階で補助を実施している。当町においても、福祉灯油助成事業を再開する考えは。

板坂 町民福祉部長

平成19、20年度は国が特別交付税措置を講じたこともあり、福祉灯油助成を行った。当町が石川県石油販売協同組合河北支部津幡ブロックと単価契約している価格を参考にすると、平成25年2月の1リットル当たり101円、1年前の2月は97円であったが、その後価格は下がっている。今後の価格を注視し、国の対応などを見据え検討していく。



▲気になる灯油価格

その他の質問

Q 吉倉の歴史民俗資料収蔵庫の活用を求めらる。

A 継続して維持、活用していく。

Q 障害者等外出支援事業の拡充を求める。

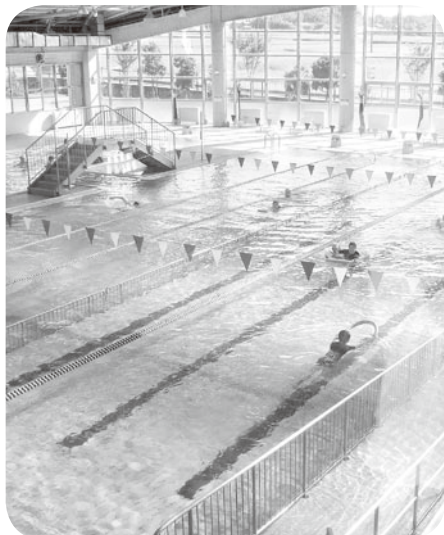
A 地域支え合いやボランティア活動による外出環境の整備を推進したい。



荒井 克 議員

ズバリ 町政を問う

いっば



▲早期着工に期待
(ラポール秦荘けんこうプール)

温水プール

コンセプトを明確に

福祉向上の一翼を
担うものとして

荒井 議員

矢田町長の公約でもあり、多くの町民がその完成を期待している温水プールに平成25年度当初予算で調査費が計上された。コンセプトを明確にし、早期の着工を期待する。

矢田 町長

温水プールの建設にあたっては、水泳のみならず、町民の健康的な生活習慣づくりとともに、福祉向上の一翼を担うものとして、運営面においては、民間ノウハウを活用した施設管理など多くの課題があるが、建設に向けて取り組んでいく。

その後の進展は

プロジェクトチームで検討

農業公園



▲地産地食（舞鶴ふるるファーム）

荒井 議員

農業公園構想の建設費など、中間報告で長期計画が発表されたが、その期間は何年か。完成までの財源の確保や運営方針、収支計画、維持管理費はどうするか。

矢田 町長

工期は1期から3期までを見込んでおり、各期を6年とし、最長で18年となる。1期整備部分のみでも魅力あふれる施設にしたい。管理運営主体などを含め、現在プロジェクトチームで検討を進めている。

ん質問



道下政博 議員

通学路

安全対策を25年度で完了させよ

完了予定である

道下 議員

国の平成25年度当初予算に防災・安全交付金が新たに計上された。通学路の安全点検の支援もできる。

未整備の箇所については、通学路の安全対策を優先する観点から、25年度で完了させよ。



▲見やすくなった横断歩道

矢田 町長

通学路の安全対策必要箇所のうち残っていた9か所については、防災・安全交付金を活用し、先の2月会議で補正予算を編成した。町道はもとより、国・県が管理する通学路についても25年度で完了予定である。今後通学路の安全確保については万全を尽くす。

ペプシノゲン検査の検診率を高めよ

継続して知識の普及と啓発に努める

がん予防



▲検診は必ず受けましょう

道下 議員

日本人の死因のトップはがんである。がんの死亡率のうち、胃がんは上位にランクされる。早期発見にはペプシノゲン検査が有効である。当町では補助対象となっているが、まだまだ検診率が低い。知識の普及と普及に努めよ。

板坂 町民福祉部長

町では、平成22年度から胃ペプシノゲン検査を導入している。これまで123人が受診し、そのうち34人に精密検査が必要であると判定された。対象年齢を年々拡大してきたが、今後はさらに検診内容の充実を図るとともに、胃がんの早期発見に対する知識の普及と啓発に努める。

その他の質問

Q 公文書の取り扱いは万全か。

A 文書取扱規程に基づき適性に管理している。

Q 体育館などの天井落下防止対策を早急にする。

A 速やかに調査を進める。

Q 温水プールの調査予算の内訳は。

A 基本構想調査委託料、先進地の視察など。

Q 幼児教育の無償化に取り組め。

A 国の動向を見て対応する。



黒田英世 議員

ズバリ 町政を問う

いっば

町として早急に対策を

独自の取り組みは困難

PM2.5

黒田 議員

平成25年1月31日、PM2.5は国内155ある測定局のうち、31%に当たる48局で環境基準値を超えていた。今後、西からの風が強くなり、黄砂同様にPM2.5の飛来も十分に考えられる。町としても観測体制を整えておくべきではないか。



▲いつまで続くのかな

石庫 生活環境課長

国は、広域的な課題であることから注意喚起の実施主体は基本的に都道府県としている。県では、早急に注意喚起や情報提供を行う体制を整備するとしている。町独自の測定体制の整備は、測定機器の導入やメンテナンスに多額の費用が必要となることから考えていないが、当町が測定地点の候補地となり得るのか調査したい。

展示コーナー

庁舎内に特産品や工業製品の展示を

長期の展示スペース確保が困難

黒田 議員

平成24年11月に開催された津幡町工業展は大成功であった。当町にある企業には、IT産業や自動車産業、その他日本経済の発展を底支える企業や日常生活

活に欠かせない優良な製品を製造している企業が多くある。

わが町に対する理解を一段と深める一助として、庁舎内に展示コーナーを設置せよ。

伊藤 交流経済課長

年間を通した展示コーナーの設置は、場所の確保が困難である。また、防犯対策や特産品の管理などの課題もある。展示品にかわる写真などの掲示を検討したい。



▲がんばれ！津幡の企業

その他の質問

Q 定住人口増加促進策を強化せよ。

A より効果的な政策を調査・検討していく。

ん質問



西村 稔 議員

単独行政

経営課題は

行財政の効率化に
真剣に取り組んでいる

西村 議員

将来的にも単独行政が可能か。
また、町政において重要な要素や課題は何か。

矢田 町長

単独で行政を行うには、健全な財政が不可欠であるという認識であり、行財政の効率化に真剣に取り組んでいる。

また、町民が住んでよかったと実感できるまちづくりに向け、さまざまな課題に取り組むことで、単独行政は今後也有可能であると考えている。



▲がんばる津幡町

保育園の改修計画は

改修が必要な
特定建築物には該当しない

耐震改修



▲元気な子どもたち（中条南保育園）

西村 議員

耐震改修未整備の園はどこか。また、対象園の耐震改修計画はどうなっているか。

矢田 町長

現行の耐震基準導入以前に建設された保育園は4園あるが、建築物の耐震改修の促進に関する法律に基づく改修が必要な特定建築物には該当しない。したがって、改修計画はない。

その他の質問

- Q** 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みは。
- A** 意欲・能力に応じ積極的に登用していく。
- Q** 行財政改革に対する町長の姿勢は。
- A** 地方債残高を減少させながら、魅力ある事業には積極的に取り組んでいる。
- Q** 公約の進捗状況は。
- A** それぞれの分野で結果を出している。
- Q** 体罰、いじめ防止対策は。
- A** 町全体・社会全体で取り組むたい。



八十嶋孝司 議員

ズバリ 町政を問う

いっば

消防団協力事業所表示
企業に優遇策を導入する
自治体が、全国的に増え
ている。
当町でも団員活動に協
力している事業所に優遇
策を検討せよ。

八十嶋 議員

消防団

協力事業所に 優遇制度を

入札時の評価で 加点するなど検討

矢田 町長

平成20年に津幡町消防
団協力事業所表示制度実
施要領を定め、町内の4
事業所を認定している。
県内ではすでにいくつ
かの市町が優遇制度を設
けており、県も25年度か
ら導入予定となっている。
当町も入札における総
合評価方式の加点項目に
するなど検討する。



▲団員確保に企業の協力を

スポーツ体罰

教育委員会の

積極的取り組みを

指導者養成講座などで啓発する

八十嶋 議員

全国的にスポーツ体罰
が問題になっている。
当町にもさまざまなス
ポーツ団体があるが、決
して体罰はあってはなら
ない。教育委員会がかか
わるスポーツにおいては、
体罰への取り組み姿勢が
まだまだ不十分ではない
か。
指導者への問題提起や
研修など、あらゆる機会
を通して、体罰問題を喚
起すべきである。

早川 教育長

町教育委員会では、各
ジュニアスポーツクラブ
指導者に体罰は決して青
少年の健全育成やスポー
ツの強化につながる
という趣旨で、強く体罰
を禁止する旨の通達をし
ている。

また、指導者養成講習
会を開催し、指導におけ
る心構えなどの研修会を
実施している。

その他の質問

Q 公共施設の除雪体制
の充実を。

A 本来の業務に支障が
でないよう対応して
いく。

ズバリ 町政を問う



中村 一子 議員

原子力防災計画

県に意見せよ

町が意見を述べる
立場にない

中村 議員

志賀原発で重大事故が起きれば、当町は中能登町全住民約2万人の避難民を受け入れる。かほく市を飛び越えて受け入れを表明したのはなぜか。避難先施設の受け入れ計画を明示せよ。

また、受け入れ体制について県と協議したのか。避難計画に対し県から事前に割り振りについて打診があり、了承した。県の地域防災計画の策定に市・町が意見を述べる立場にない。

矢田 町長

河北郡市で当町だけが受け入れるのは不公平だと思っているのかも分らないが、同じ県内にある市・町が被災し、受け入れ要請があれば当然協力すべきと考えている。

河上 総務課長

中能登町住民が当町に避難した場合、町内18施設で約1万9000人を受け入れることになっている。



▲シグナスも避難所に

地域包括ケアシステムに どう取り組むか

地域包括支援センターが
中核となり、課題に取り組む

高齢社会

中村 議員

7年後には町民の4人に1人が65歳以上となる。高齢者が要介護状態になっても可能な限り住み慣れた地域で継続して生活できるよう、地域包括ケアシステムにどう取り組むのか。河北中央病院をその中核として考えよ。

また、現在高齢者の要介護認定者は何人か。施設、地域密着型、居宅の内訳も示せ。

矢田 町長

地域包括支援センターが中核となり、さまざまな実態把握、地区の懇談会、地域ケア会議を重ねることで町の実情に応じたケアシステムの充実を図る。

河北中央病院は、保険医療、介護、福祉の連携でケアシステムの推進を図る。

岡田 保険年金課長

要介護認定者は979人で、施設サービス273人、地域密着型サービス164人、居宅サービス615人となっている。

その他の質問

- Q** 町地域福祉計画に男女共同参画の視点を。 **A** 推進プランに沿って実践している。
- Q** 町社会福祉協議会に正規職員の増員を。 **A** 平成25年度に2名を正規雇用化するため予算を計上している。
- Q** 指定避難施設に自家発電の備えは。 **A** 2施設にある。
- Q** ポートピア環境委員会の公開は当然では。 **A** みどり市が判断する。

追跡 あの質問のゆくえ



▲整備された屋外拡声子局（吉倉地内）

防災行政無線を導入せよ

平成22年6月議会 道下政博議員

津幡町での災害情報はケーブルテレビ放送と防災メール配信となっているが、防災メールの場合は事前登録が必要である。不特定の方にはその情報が伝わらない欠点があり、防災行政無線の導入が不可避ではないか。

答 弁

基本設計調査に着手できないか検討

防災行政無線の必要性は十分認識しているが、導入経費が約5億円と見込まれることに加え、有効な財源がなかったことから実現に至っていない。

引き続き、導入について常に有効な財源や技術革新による費用の縮小などを的確にとらえ、基本設計調査に着手できないか検討したい。

その後

整備完了 4月1日運用開始

東日本大震災を契機に創設された緊急防災・減災事業債と拡充された国庫補助金をを活用し、デジタル防災行政無線設備の整備が完了した。

平成25年4月1日から運用を開始した。今後は、災害時などの情報伝達に活用し、より一層の「安全・安心のまちづくり」を目指していく。

これまでに行われた質問や提言がどう取り組まれたか、2項目を選びレポートする。

津幡中学校体育館の天井改修を

平成23年6月議会 酒井義光議員

津幡中学校体育館の天井に使用しているウールマットの損傷が激しい。

天井を取り外し、ほかの体育館のように鉄骨を露出させるか、現行のまま改修するか、今後の取り組みを示せ。

答 弁

再度、検討したい

残響音の少ない音声で式典が開催できるよう協議した結果、現在の形状となった。この形状を生かした補修を検討したが、多額の費用がかかり実施には至っていない。

安全性を最優先に、体育館、講堂両面の使用実態と将来的な使用、状況を踏まえ再検討したい。

その後

平成24年8月に改修完了

天井改修についてはさまざまな方法を検討したが、工事費用や工事期間、施設の機能保持の面などから、既設天井材同等品での補修をし、24年8月に改修を完了した。

現状の天井は、天井材が落下しにくい構造となっている。

議会を傍聴しましょう

◎町政一般質問は、年4回（3月、6月、9月、12月）行われます。

お問い合わせは、
議会事務局（Tel288-6410）



津幡町HP携帯版

みんなで楽しくやってま〜す!!

津幡囲碁クラブ

サークル紹介第14回



囲碁は楽しく効能も多い。右脳と左脳が活発に働き、子どもたちの数学などの学力が向上し、高齢者は認知症の予防に大いに効果があるとされる。

さらには会員相互の親睦が深まるとともに、囲碁クラブは貴重なコミュニティとなっています。津幡囲碁クラブは昭和43年に結成され、以来広く県内外の各種大会で活躍する強豪となっています。そんな中、平成17年に「子ども教室」を開設、みるみる棋力が向上し、今や津幡小学校が全国小学校団体戦に5年連続出場する大活躍です。平成20年には日本棋院津幡支部(支部長・浅野元哲氏)が設立され、さらにステップアップを目指しています。クラブは毎日午後2時から開いています。気軽にどうぞ!!特に子どもは大歓迎です。

世代間交流が楽しい

会長 横田 強
よこた つよし

4月29日に県森林公園緑化の広場で行われる「県民みどりの祭典」で町議会県森林公園活性化対策特別委員会は、ヒョウタンのほか、ゴーヤ、サルビア、ベゴニアなど合計1000鉢を10時30分から配布します。ぜひご来場ください。

4/29

1,000鉢

無料配布

県民みどりの祭典で
ゴーヤ・
ヒョウタン苗など

表紙の題字は

英田小学校 6年

野村 巴月さんの作品です。

私は、津幡町にあるたくさんの方の自然が大好きです。津幡町にはいろいろな植物があり、特に緑の多いところが好きです。



ディスカバー つばた③

このコラムは、町内の名所・伝承を紹介します。

～禁酒の碑 (河合谷地区)～

大正15(1926)年、河合谷村では老朽化した小学校の改築費45,000円を捻出するため、村をあげての禁酒が実施されました。村民が毎日酒を飲んだつもりで5銭以上貯金をしたおかげで、予定どおり校舎は完成しました。



校舎の完成後も20年間禁酒が続けられたので、この村が禁酒の村であることを周知するため碑が建てられました。現在は河合谷町民センター前にあります。

あとがき

現スタッフによる議会だよりは今回で任期終了のため最後となります。分りやすく読みやすい議会だよりをお届けすることを目指して頑張つてまいります。

今後よりよい議会だよりの編集のため、皆さまからのご意見、ご要望をお待ちしております。

- 編集委員長 向 正則
副委員長 多賀 吉一
委員 黒田 英世
角井外喜雄
酒井 義光
道下 政博